

児童相談所関連研修「児童家庭福祉」

【日時】	令和3年6月24日（木）、25日（金）9：00～17：00
【会場】	CIVI 研修センター日本橋
【受講者数】	67名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会事業大学 専門職大学院 教授 宮島 清 氏 ・大田区 こども家庭部 子育て支援課 職員 ・葛飾区 子ども総合センター 子ども家庭支援課 職員 ・文京区 福祉部 生活福祉課 職員 ・児童養護施設 東京家庭学校 施設長 松田 雄年 氏 ・江戸川区 子ども家庭部 一時保護課 職員
【研修内容】	<p><目的></p> <p>児童虐待を取り巻く情勢を理解し、子ども家庭福祉行政に携わる職員としての自覚や自信を持ちながら、児童虐待に的確に対応することができる実践的能力の向上を図る。</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童福祉行政（講義） ② 通告ケースの初期対応（講義・演習） ③ 要保護児童対策地域協議会の運営（講義） ④ 社会的養護（講義） <div style="text-align: center;"> <p><演習の様子></p>  </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のケースが目まぐるしい中で知識を深めたり、他区の方と同じテーマで交流したりする機会がなかったため、参加できて良かったです。 ・区により同じ子ども家庭支援センターであっても調査やアプローチの仕方に違いがあることがわかりました。一番に子どもを考えて行動できるようにしたいです。 ・総論的な内容と実践的な内容が盛り込まれており、知識面だけでなく今後の業務にすぐに取り入れられそうなことを学びました。 ・現場で直接対応をなさってきた講師の方々のお話は、1つ1つ重みがあり、大変勉強になりました。 ・区の児童相談所設置が予定されている中で、専門性を高める機会が乏しかったが、講師の方々のお話を聴き、モチベーションを保つことができました。